

平成31年1月分 中部空港税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

平成31年1月分について、輸出は「重電機器」、「プラスチック」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「電気計測機器」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同月比3.9%の増加となった。また、輸入は「電気計測機器」、「魚介類及び同調製品」などが増加したものの、「有機化合物」、「原動機」、「半導体等電子部品」などが減少したことから、同2.2%の減少となった。

その結果、差引額は191億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	683億円	+3.9%	874億円	▲2.2%	▲191億円	▲19.1%
	21カ月連続の増加		5カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	70億円	+46.9%	輸入	増加品目	(1)電気計測機器	46億円	+137.2%
		(2)電気計測機器	69億円	+15.1%			(2)魚介類及び同調製品	31億円	+201.6%
		(3)半導体等製造装置	15億円	+45.9%			(3)医薬品	132億円	+15.4%
	減少品目	(1)重電機器	7億円	▲46.3%		減少品目	(1)有機化合物	26億円	▲78.1%
		(2)プラスチック	13億円	▲21.5%			(2)原動機	83億円	▲22.1%
		(3)電気回路等の機器	39億円	▲8.4%			(3)半導体等電子部品	62億円	▲22.5%
	主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少					主要地域 増減	EUが減少、アジア、アメリカは増加	

（参考）ドルレートは、109.47円（前年同月比2.7%、3.00円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。